

令和7年 STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン



昨年1年間の職場における熱中症の発生状況は、死亡を含む休業4日以上之死傷者は1,195人、うち死亡者は30人となっています。業種別にみると、死傷者数は全体の約4割が建設業と製造業で発生しています。死亡者数は、建設業で最も多く、製造業と運送業が同数となっています。

このうち多くの事例で暑さ指数(WBGT)を把握せず、熱中症の発症時・緊急時の措置の確認・周知の実施が確認できませんでした。また、糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病を有している事例も見られ、医師等の意見を踏まえた配慮がなされていなかった事例もありました。

令和7年5月から9月まで、「**STOP!熱中症 クールワークキャンペーン**」を実施します。すべての職場において熱中症予防対策を講じましょう。

龍ヶ崎署管内でも死亡災害が発生

全国の熱中症の死亡災害**30人**のうち、**3人**は茨城県内で発生しました。
そのうち**1人**は当署管内で令和6年7月に発生しました。当日の気温は33.4℃、暑さ指数は31.9℃でした。早めの取り組みをお願いします。

○ 4月は準備期間です。以下の取り組みを確認しましょう。

職場での熱中症により近年は、
一年間で約30人が亡くなり、
約1,000人以上が4日以上
仕事を休んでいます。

QRコード:

←キャンペーン実施要項

キャンペーン期間

4月	5月	6月	7月	8月	9月
準備			重点取組		

準備期間 4月 にすべきこと



キャンペーン
実施要領

◀ 詳しくはキャンペーン実施要項をご確認ください

きちんと実施されているかを確認し、
☑チェックしましょう。

暑さ指数 (WBGT)の把握の準備

☐ JIS規格に適合した暑さ指数計を準備し点検を行う。環境省が発表している熱中症警戒アラートは、職場においても熱中症リスクの早期把握の観点から参考になる。

作業計画の策定

☐ 作業内容等を十分に考慮した暑熱順化プログラム、暑さ指数に応じた十分な休憩時間の確保、WBGT値を踏まえた作業中止に関するを含めた作業計画を策定する。

緊急時の対応の事前確認

☐ 事業場ごと、あらかじめ、労働者の体調不良時に搬送を行う医療機関の連絡先、緊急時の必要な措置の実施手順を作成し、休憩場所等の見やすい場所へ掲示する等して関係者に周知する。

龍ヶ崎労働基準監督署

茨城県龍ヶ崎市川原代町4区6336-1
TEL 0297-62-3331